

再評価結果（平成31年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・技術課
担当課長名：東川 直正

事業名	空港・港湾等アクセス道路 一般国道491号 下小月バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	山口県
起終点	自：山口県下関市清見 至：山口県下関市小月	延長	1.7 km		
事業概要	<p>国道491号は、下関市の国道2号を起点とし、長門市の国道191号に至る、延長約53kmの陰陽を連絡する幹線道路であるとともに、中国縦貫自動車道や国際拠点港湾下関港へ連絡する重要な道路である。</p> <p>しかしながら、当路線の起点から当該事業の終点までの間は、下関北部や小月ICと市街地を結ぶ交通が集中しており、4箇所の主要渋滞箇所や、3箇所の事故危険箇所が指定されている。</p> <p>このため、当該事業で新たにバイパスを整備することにより、交通の分散化による周辺道路の渋滞緩和や、交通事故の減少を図るとともに、高速交通拠点である小月ICと国道2号、国際拠点港湾下関港の連絡を強化し、アクセス性の向上、物流の効率化を図ることを目的としている。</p>				
H25年度事業化	都市計画決定なし	H26年度用地着手	H26年度工事着手		
全体事業費	約54億円	事業進捗率	43%	供用済延長	0 km
計画交通量	11,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 1.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 43/43億円 事業費：42/42億円 維持管理費：1/1億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 70/70億円 走行時間短縮便益：49/49億円 走行費用減少便益：19/19億円 交通事故減少便益：2/2億円	基準年 平成24年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.5~1.8(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.5~1.8(交通量±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8(事業費±10%) 事業費：B/C=1.5~1.8(事業費±10%) 事業期間：B/C=1.5~1.8(事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.5~1.8(事業期間±20%)</p>				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 中国縦貫自動車道小月ICや国際拠点港湾下関港へのアクセス性を高めることで、物流コストの低減、産業力の強化が期待できる。 下関市北東部から第三次救急医療施設「関門医療センター」への搬送時間短縮による救命率の向上が期待できる。 バイパスに交通が転換し、交通の分散化により、沿道環境が改善される。 				
関係する地方公共団体等の意見	毎年、下関市から早期整備の要望があり、これまで実施してきたPIや地元説明会の中でも、地域住民からも早期整備を強く要望されている。				
事業評価監視委員会の意見					
事業採択時より、再評価実施時までの周辺環境変化等	・国道2号小月バイパスが平成28年度に供用開始				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得率：約98%、事業進捗率：約43% 盛土工、橋梁工の進捗を図り、早期完成を目指す。				

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

残る用地取得を継続するとともに、早期開通を目指し、改良工事を推進していく。

施設の構造や工法の変更等

・今後も工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。

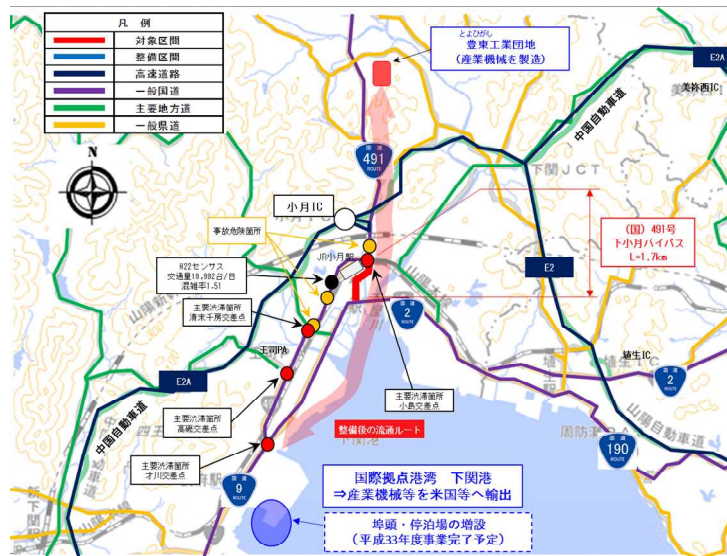
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案し、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



凡例	
	供用中
	再評価箇所

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。